



攻め好きな  
受付嬢さん〜3〜

フルカラー32ページ





えっ、あなたは？



ちゅっ

ん！

むにっ



どうしてだろう...

ちゅっ

ちゅっ

くちゅ

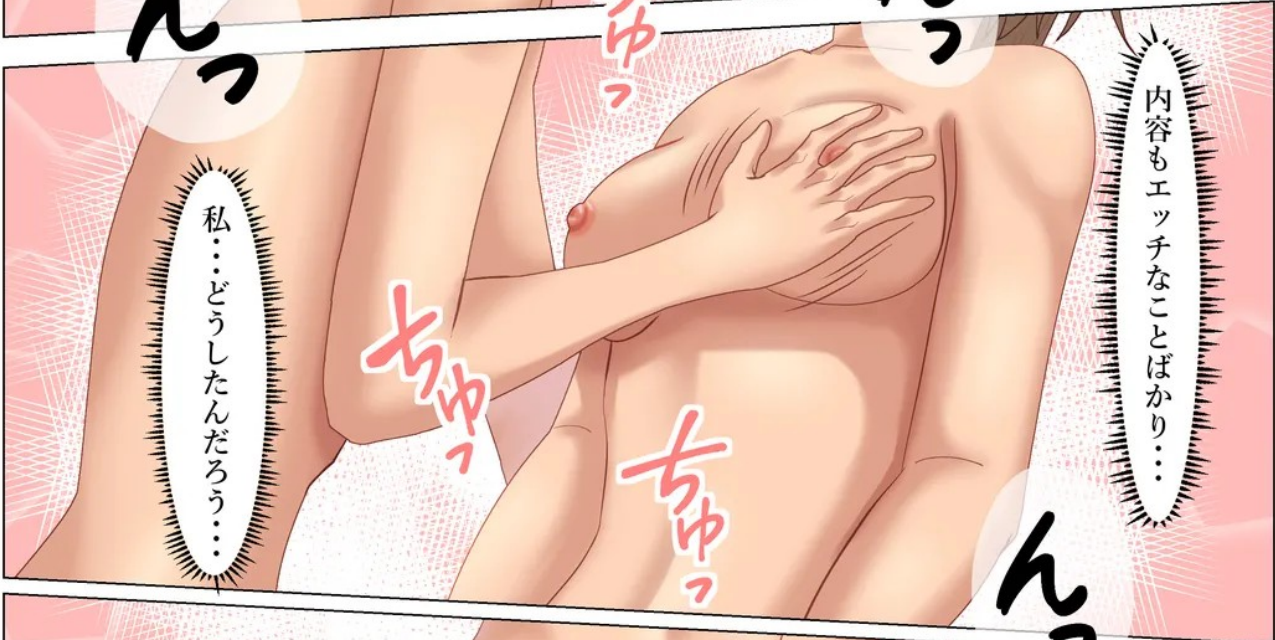
くちゅ

くちゅ

くちゅ



最近、夢にあの人に似た人が出る…

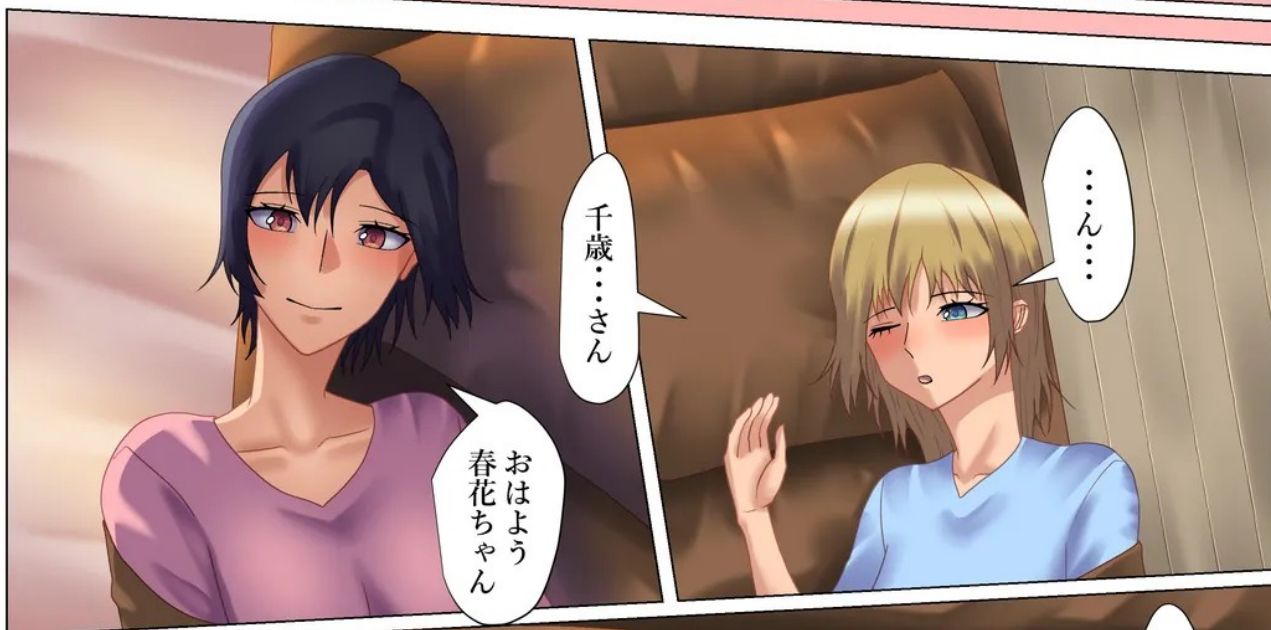


内容もエッチなことばかり…

私…どうしたんだろう…



ひゃあっ!



何か依頼ありますか？

そうねえ…

これは…

危険な依頼はあまり勧めたくない…

でも、春花ちゃんは何か目的があって  
ハンターになったはず…

私に出来ることは彼女を  
全力でサポートすること

私の魔法なら  
春花ちゃんの力になれる

これはどう？



ビックボア2頭の討伐

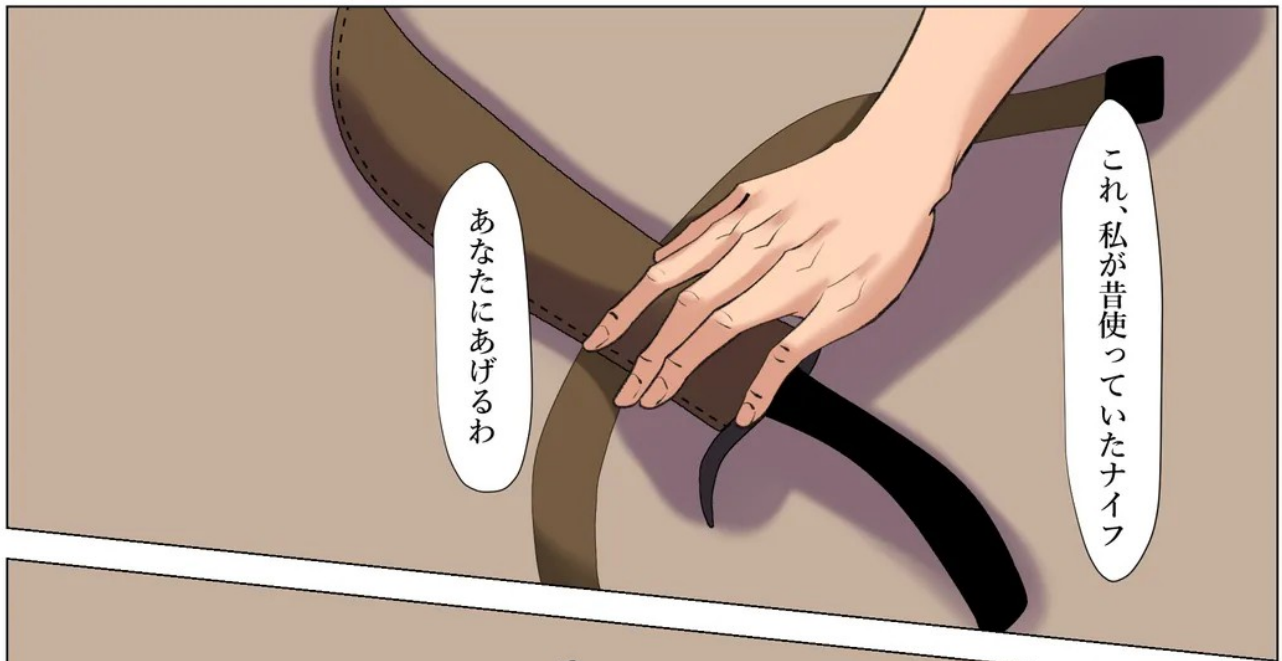
春花ちゃんの階級より  
1つ上の依頼だけど

…あの人みたいに  
強いハンターになるためだ!

はい、それをお願いします

…分かりました

ちょっと待ってて



あなたにあげるわ

これ、私が昔使っていたナイフ



いいのよ  
あなたを守るためだもの

えっ！いいんですか？

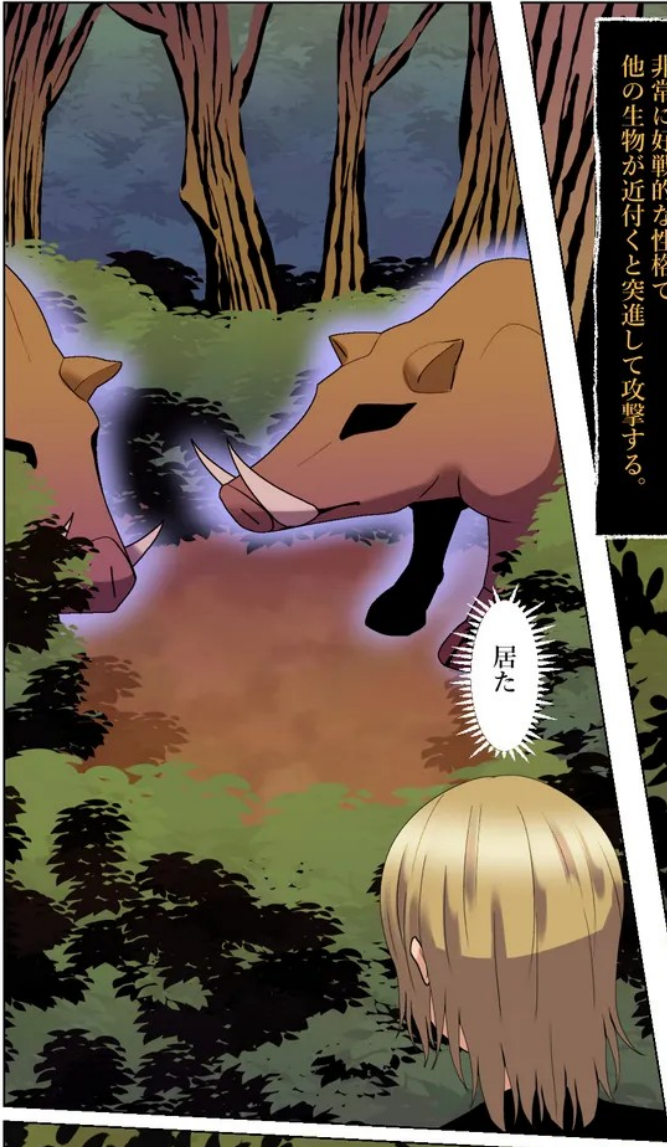


おまじないは朝のうちに  
かけておいたから

あ、ありがとうございます

行ってきます

気を付けてね

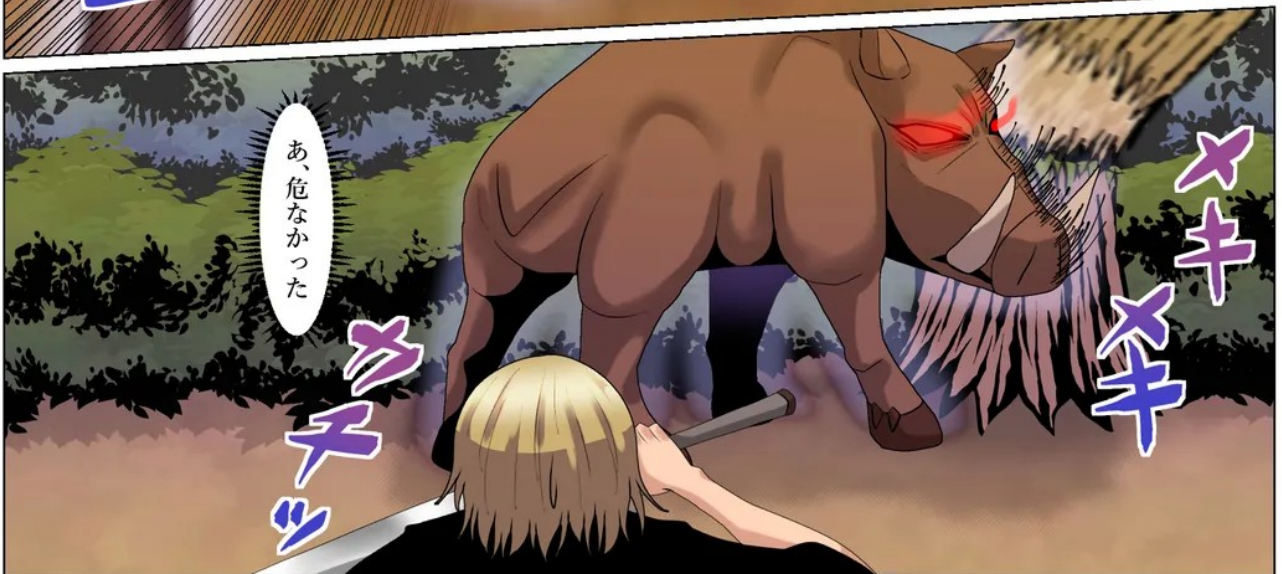
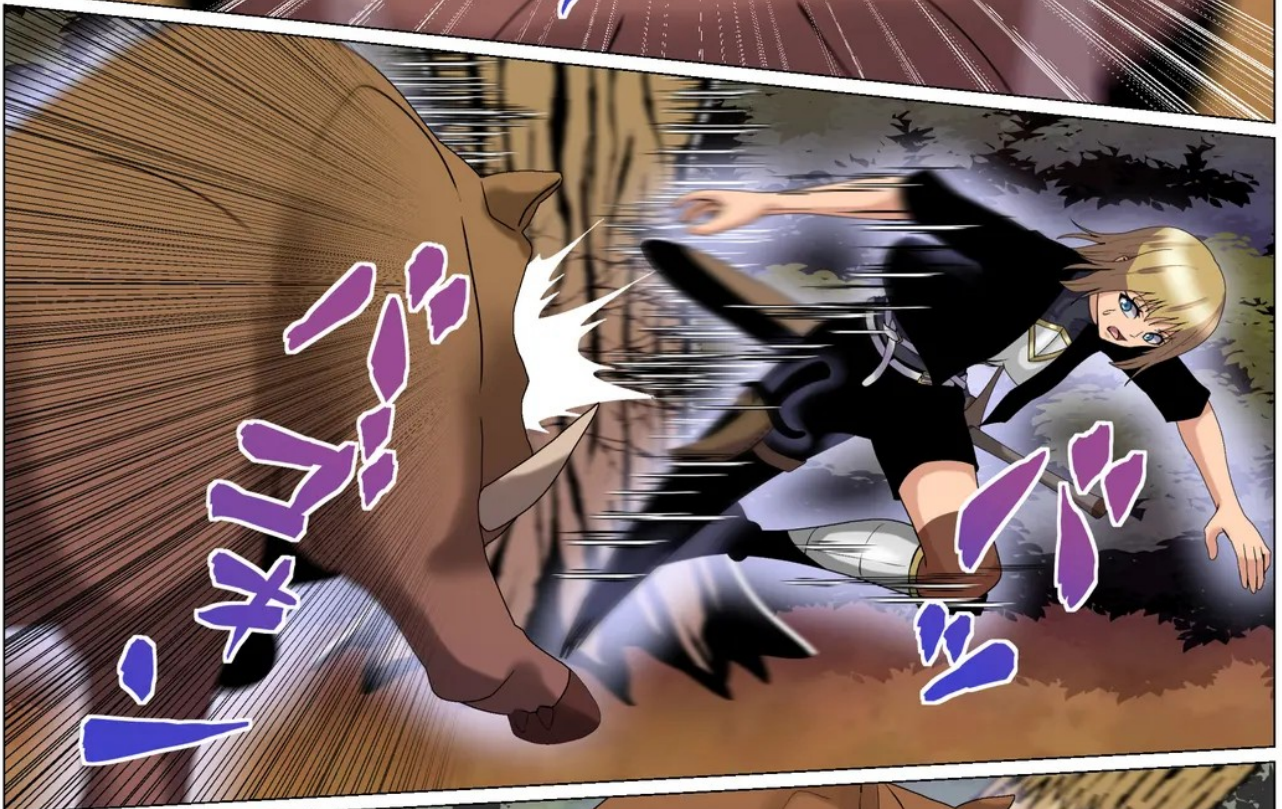


居た

ビツクボア  
巨大な猪型の魔物。  
非常に好戦的な性格で  
他の生物が近付くと突進して攻撃する。

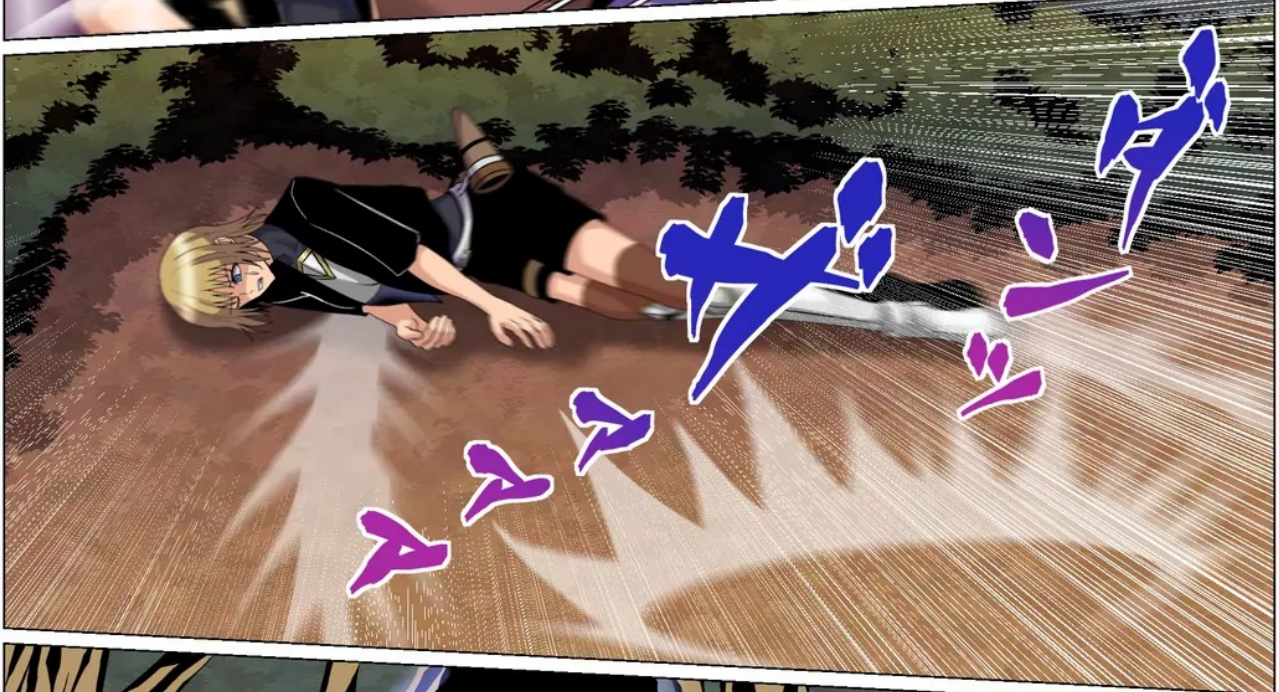


えっ！  
もう気付かれた!?

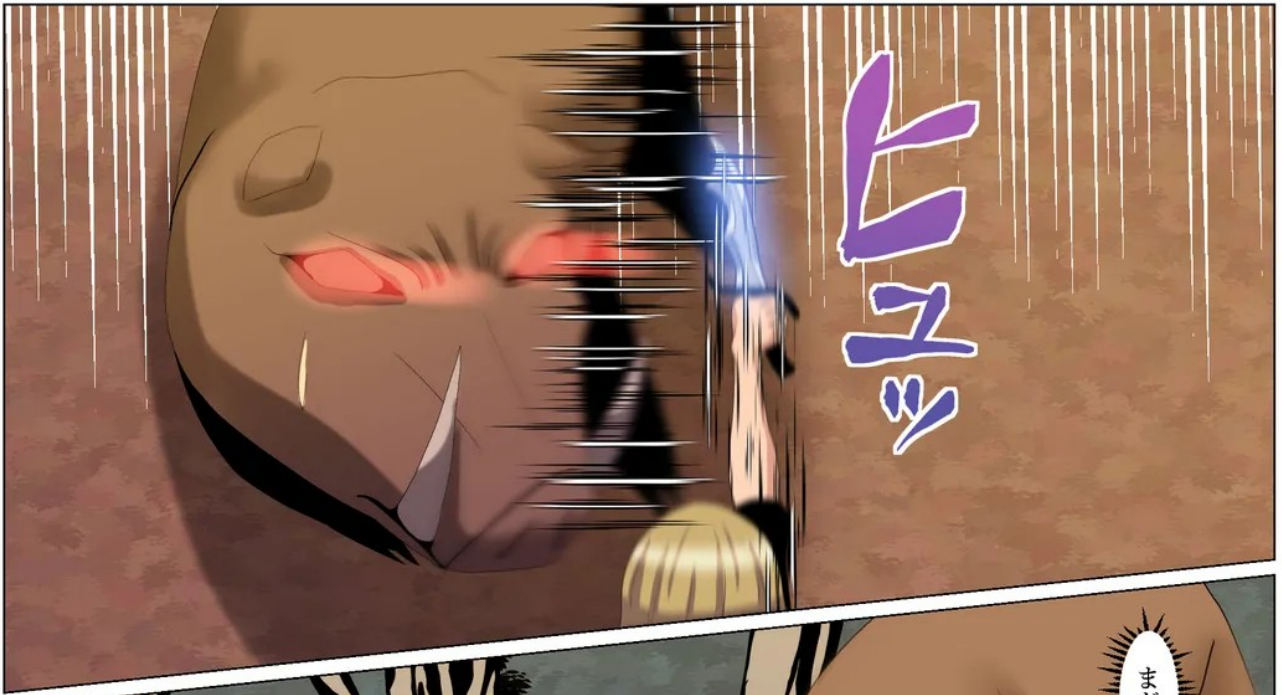


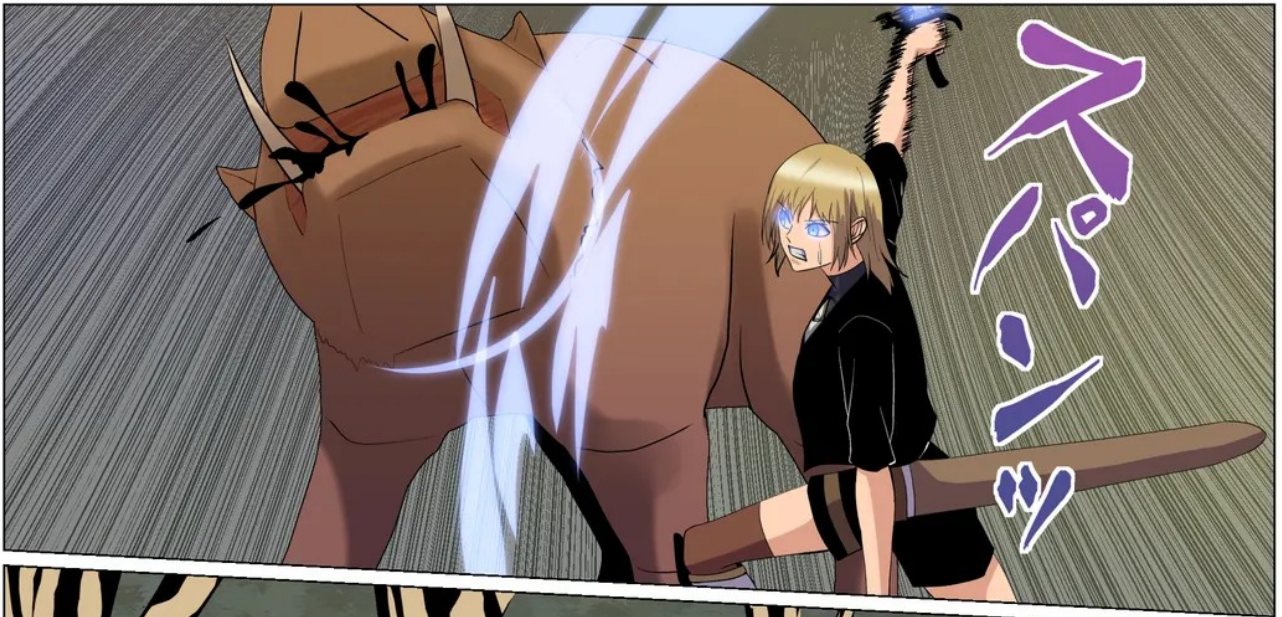














千歳さん  
戻りました

おかえ……り……



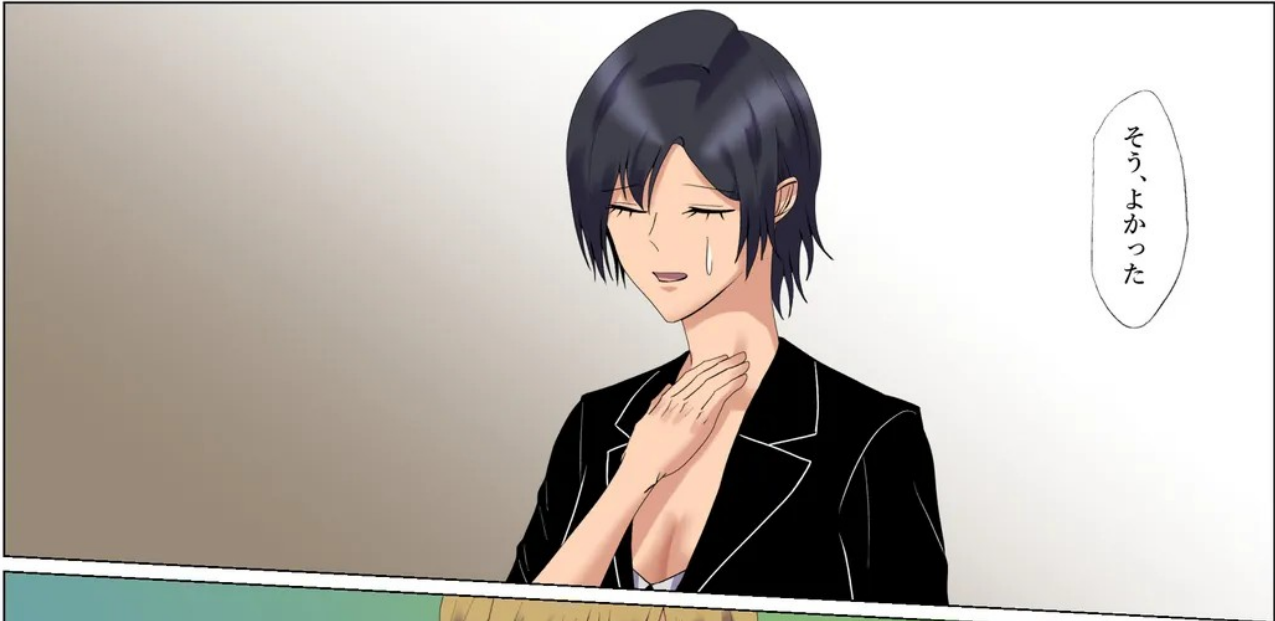
だ、大丈夫!?

あっ、はい  
戦闘中に剣が折れちゃって……



でも、千歳さんに貫ったナイフで  
倒せました

ありがとうございます



そう、よかった



ちょっと、失礼

治癒の魔法をかけるわね

ポワッ

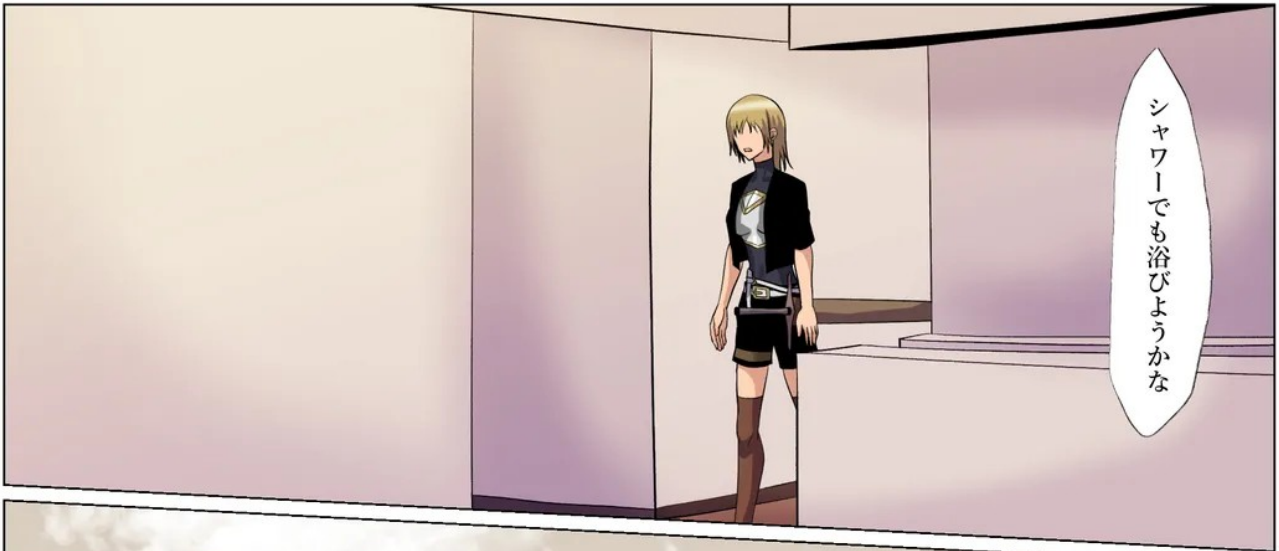
あ、ありがとうございます



今日はもう家で休んでなさい

報酬は後で持っていくから

はい、そうさせてもらいます



シャワーでも浴びようかな



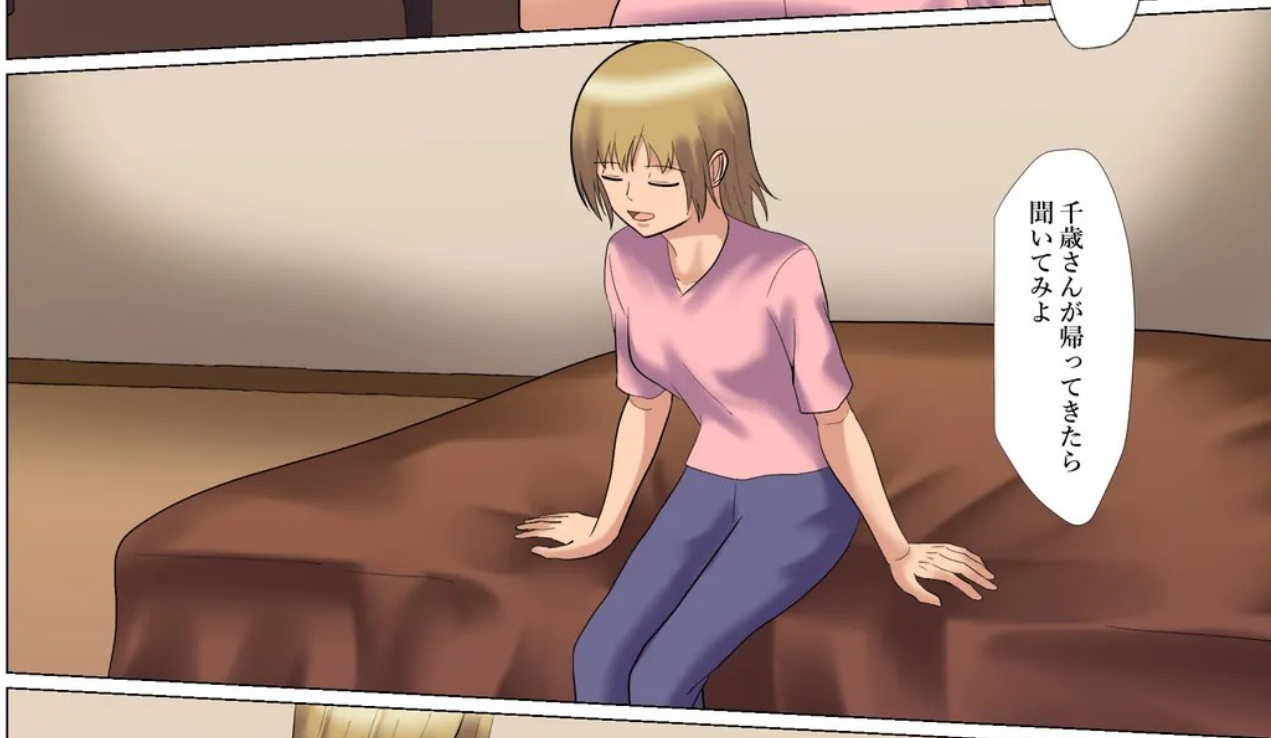
はあ、剣折れちゃったなあ

私もあの人みたいにな  
ナイフを使っていこうかな



私が昔使ってたナイフ…

そういえば  
千歳さんも昔はハンターだったのかな



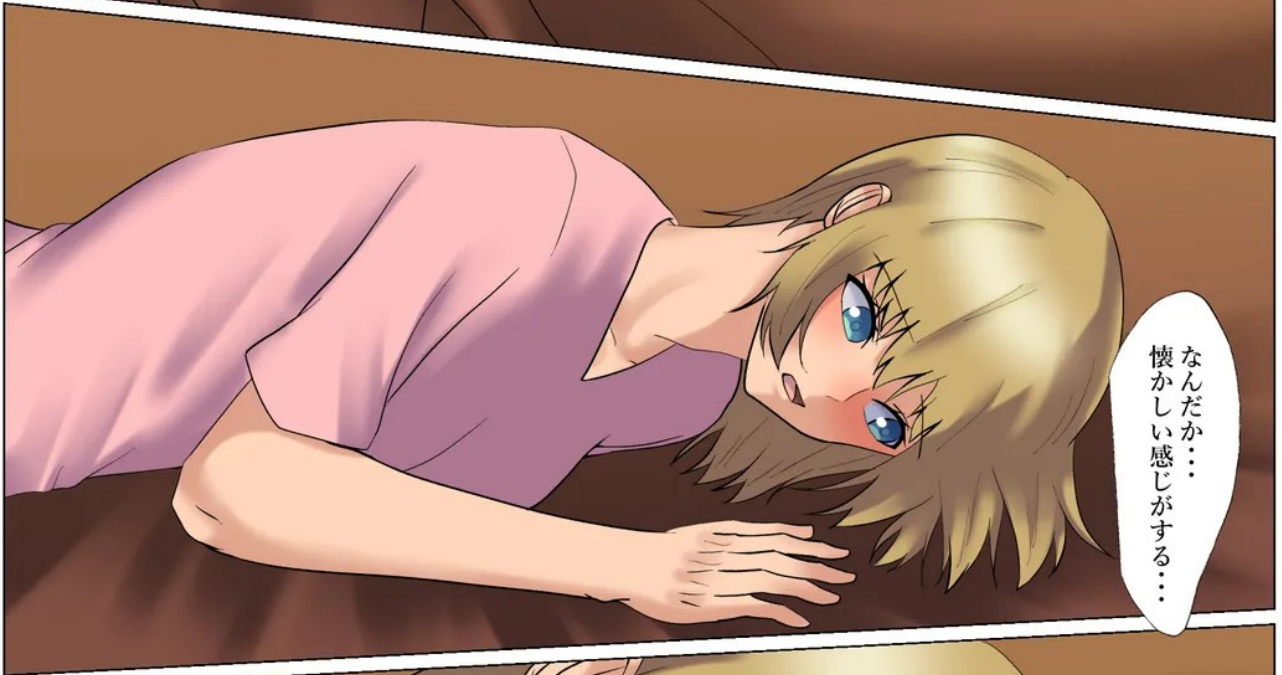
千歳さんが帰ってきたら  
聞いてみよ



千歳さんのベッド…



千歳さんの匂い...



なんだか...  
懐かしい感じがする...





ただいま



春花ちゃん  
大丈夫…夫？…



夕飯の支度しないと…

無理させちゃったかな  
ごめんね…



…ん…

寝ちゃってた

千歳さん帰ってたのか



ああ、春花ちゃん起きたのね

お帰りなさい  
千歳さん

すみません、つい寝てしまってた



ここはもうあなたの家なんだから

自由にしていいのよ

ほら、ご飯にしましょ

はい



春花ちゃん

何ですか？

どうしてハンターになろうと思ったの？



：小さい頃  
私はある女性ハンターさんに  
助けられて、孤児院で育ちました

私は、その人みたいに強くて  
誰かを守る人になりたいくて

できれば、その人に  
お礼が言いたいです



千歳さんは何か知りませんか？

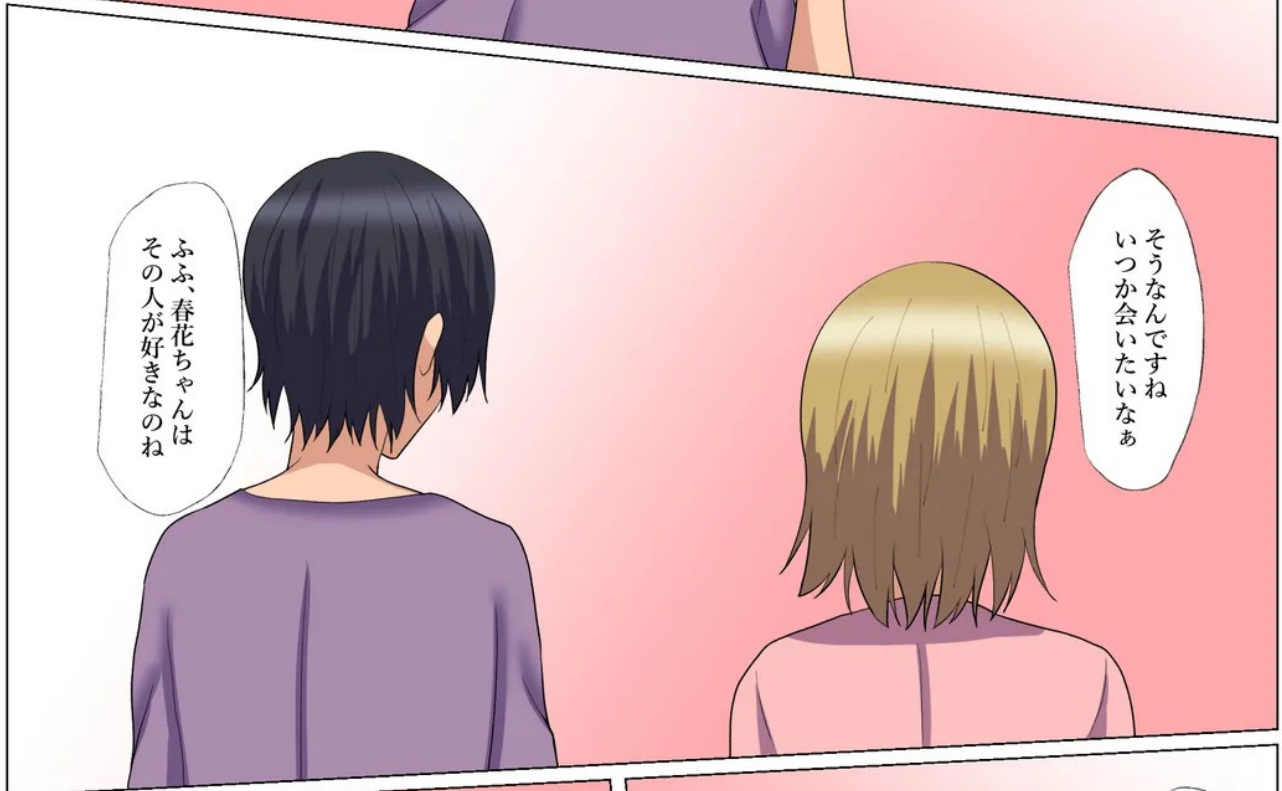
確か、黒髪でナイフを使っていた  
ハンターさんなんですけど…

：



ああ、そういえば  
そんなハンターさんが居たわねえ

この街に住んでるって  
噂を聞いた気がするけど…



そうなんです  
いつか会いたいなあ

ふふ、春花ちゃんは  
その人が好きなのね



……?  
……



ホアホア

……  
……



す、好きかどうかは  
分からないんですが

夢に似た人が出てくるんです

その度になんだか  
ドキドキして



多分、それは好きってことよ

.....



でも、女の子にそんなこと言われても  
迷惑ですよ

そんなことないわよ



好意を寄せられるのは  
嬉しいと思うわ

たとえそれが同性でもね

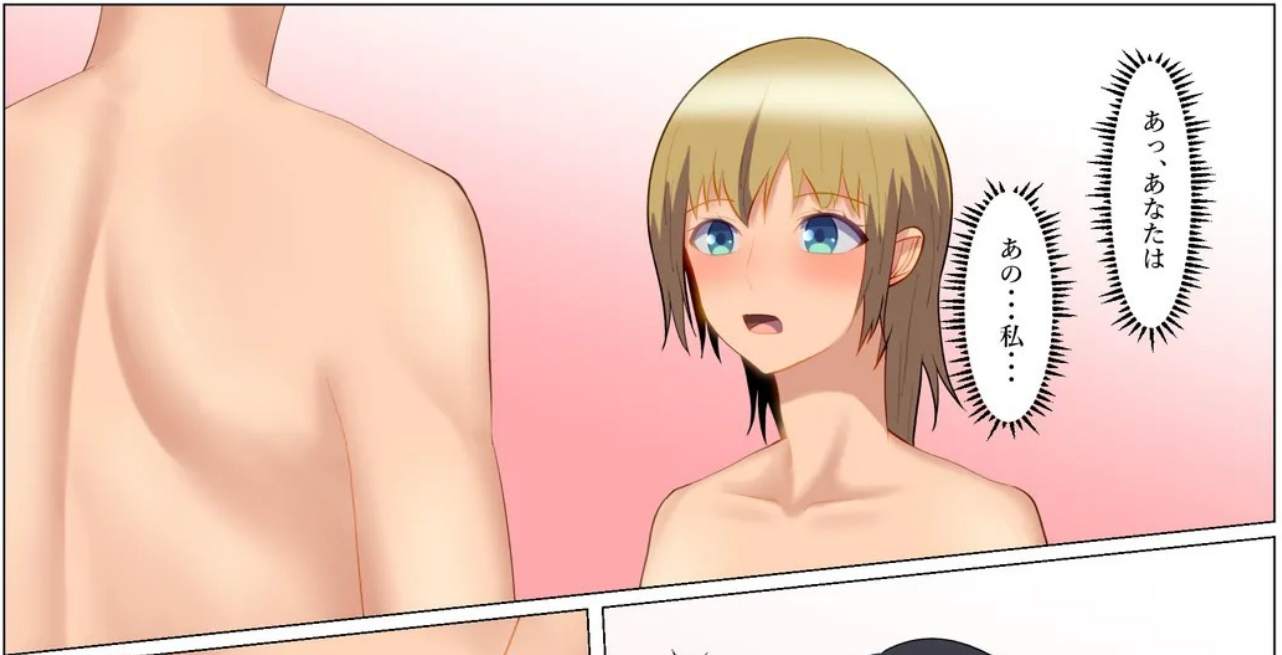
会った時に伝えてみたら



…考えておきます

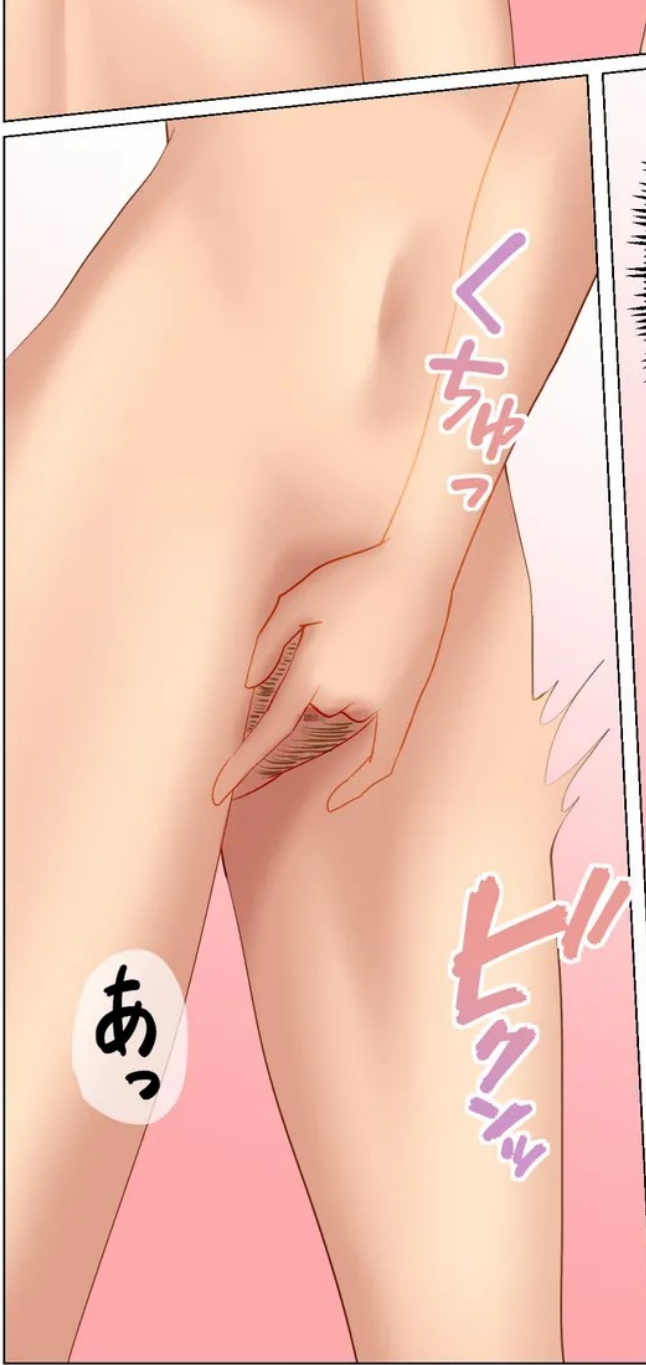


さあ、もう寝ましょ



あつ、あなたは

あの…私…



くちゅっ

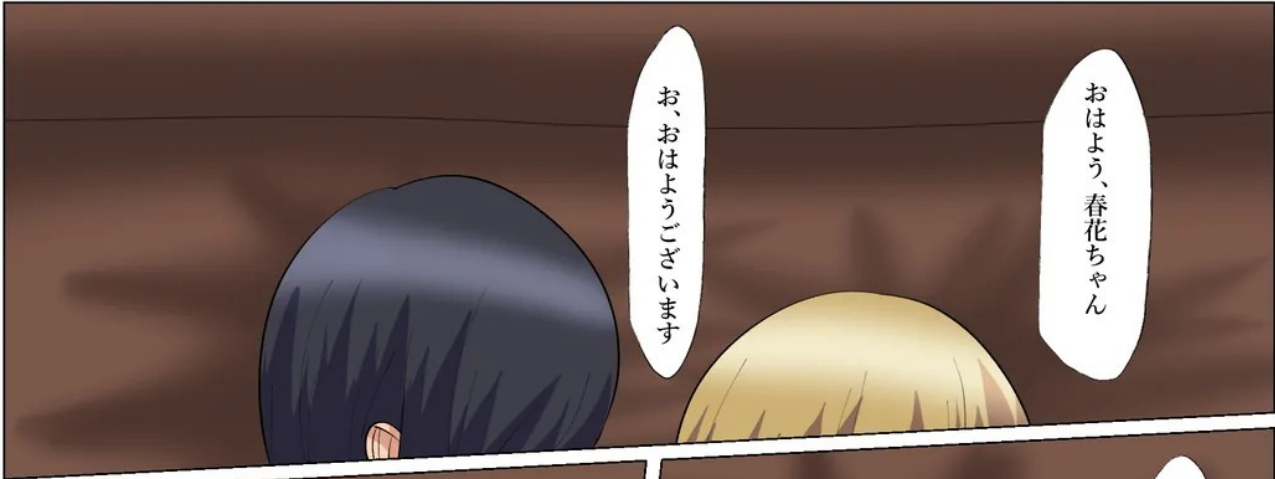
ピクッ

あっ



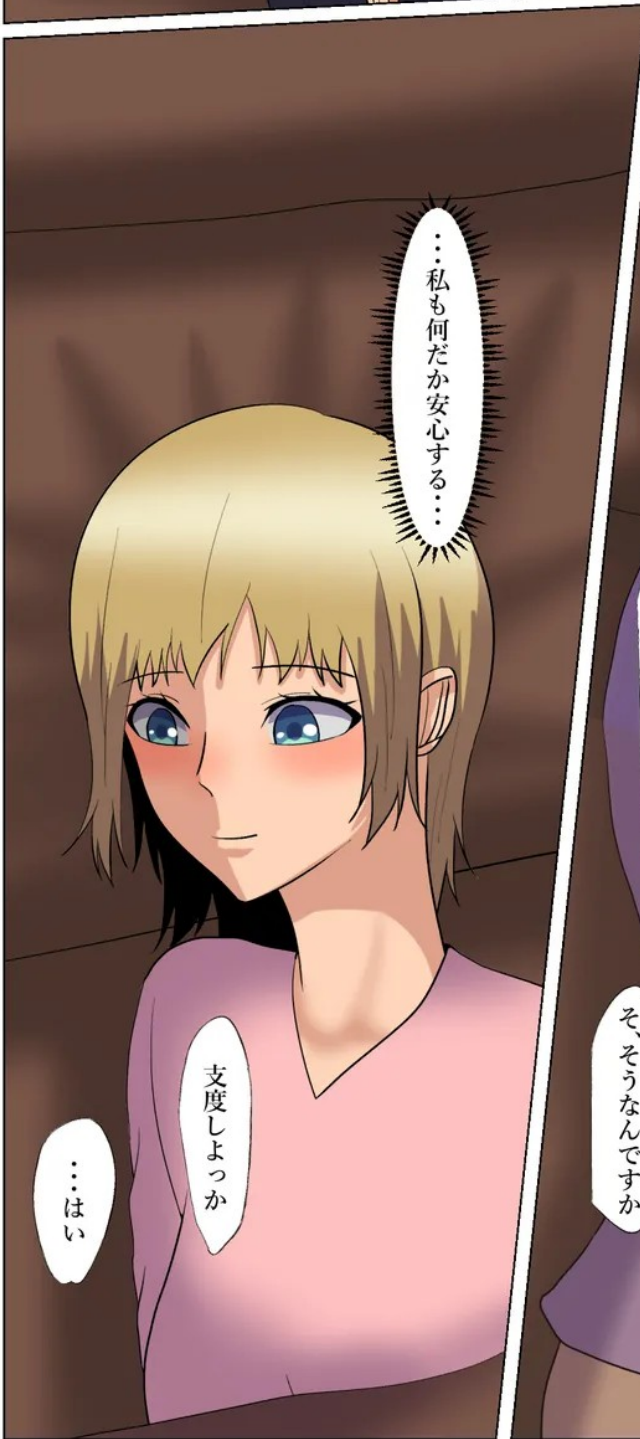
えっ、あ、あの…





お、おはようございます

おはよう、春花ちゃん



…私も何だか安心する…

…はい

支度しよっか



あ、あの…この状況は？…

ああ、ごめんね  
こうしていると安心するの

そ、そうなんですか





頑張ったわね  
春花ちゃん

これで昇格試験を受ける事が  
できるけど……

受ける？



はい！お願いします！

分かりました

試験は明日、私が監督する中で  
格上の魔物を討伐してもらいます



今日はもう休みなさい

はい



ユウ……シヤ……